



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 スタートトゥデイ
コード番号 3092 URL <http://www.starttoday.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 前澤友作

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 柳澤孝旨

TEL 043-213-5171

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|------|-------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第3四半期 | 22,831 | 33.9 | 5,427 | 35.4 | 5,343 | 33.4 | 3,161 | 41.4 |
| 23年3月期第3四半期 | 17,045 | 46.7 | 4,007 | 90.7 | 4,006 | 89.5 | 2,236 | 86.1 |

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 3,088百万円 (38.2%) 23年3月期第3四半期 2,234百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第3四半期 | 28.77 | 28.69 |
| 23年3月期第3四半期 | 20.37 | 20.30 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 24年3月期第3四半期 | 22,936 | 12,085 | 51.9 | 108.43 |
| 23年3月期 | 16,233 | 9,533 | 58.7 | 86.79 |

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 11,913百万円 23年3月期 9,531百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | — | 0.00 | — | 7.00 | 7.00 |
| 24年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 24年3月期(予想) | — | — | — | 10.50 | 10.50 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|-------|------|-------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 32,200 | 35.3 | 8,560 | 46.3 | 8,570 | 46.1 | 4,800 | 54.7 | 43.70 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

(株)クラウンジュエル、ZOZOTOWN H
新規 3社 (社名) ONGKONG CO.,LIMITED、走走城(上海)電子商務有限公司、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|---------------|----------|---------------|
| 24年3月期3Q | 109,869,300 株 | 23年3月期 | 109,828,800 株 |
| 24年3月期3Q | — 株 | 23年3月期 | — 株 |
| 24年3月期3Q | 109,859,924 株 | 23年3月期3Q | 109,776,900 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料、動画については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・平成24年1月30日(月).....機関投資家・アナリスト向け決算説明会

・平成23年2月1日付で普通株式1株につき300株の割合で株式分割しております。そのため、平成23年3月期第3四半期の1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び期中平均株式数については、当該株式分割が前期首に行われたと仮定して算定した数値を表示しております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 4 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 5 |
| 2. サマリー情報(その他)に関する事項 | 6 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 6 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 6 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 6 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 7 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 7 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| 四半期連結損益計算書 | 8 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 9 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 10 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 11 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による社会インフラやサプライチェーンへの影響は解消しつつあり、日本企業の輸出、生産等は震災前の水準に回復するなど持ち直しの兆しが見えました。一方で欧州金融危機等の国際経済の変調の影響から、歴史的な円高が進行し、多くの国内輸出企業が打撃を受ける等、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。当社グループが軸足をおきますアパレル業界におきましても、依然として消費者の節約意識は高いまま低価格商品志向が続いており、企業を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にあります。

このような状況の中、当社グループにおきましては、引き続き主要事業であるEC事業に注力し、「ZOZOTOWN」等のECサイトの認知度と顧客サービスの向上に努めてまいりました。具体的には、CFM（Customer Friendship Management：企業とお客様が友達のように）という目標を掲げ、返品受け付けの開始、各種ポイントサービスの実施等のさまざまな取り組みを行ってまいりました。12月に行ったTVCMにおいては初めてタレントを起用し、従来のTVCMよりもインパクトの強いものとなり、売上、認知度の両面において大きく貢献いたしました。また、CFM施策の一環として4月からポイントの還元率アップのサービスを行ってまいりましたが、お客様のポイントご利用状況を鑑み、より一層ポイントサービスをお客様にとって有用なものとするため、還元率を従来の1%に戻し、代替として機動的なポイントキャンペーンを随時実施することといたしました。その結果、お客様のポイント利用率、アクティブ率は改善され、同時に多数のお客様に新たに会員となっておいただくことが出来ました。

一方、商品供給面の強化も継続して積極的に行っております。第3四半期連結累計期間においては、価格帯や顧客層の異なるさまざまなジャンルの120ショップが新たにオープンしており、平成23年12月末時点の総ショップ数は、「ZOZOTOWN」「ZOZOVILLA」と合わせて356ショップとなりました。

上述の認知度の向上という需要面、取扱商材やショップ数の増加という供給面の双方での規模拡大により、当第3四半期連結累計期間においても順調に商品取扱高を増加させることができました。

平成23年12月末時点の「ZOZOTOWN」の会員数は4,173千人（前連結会計年度末比1,040千人増）、アクティブ会員（注1）数は1,719千人（同502千人増）となっております。なお、会員数及びアクティブ会員数には、平成23年6月より開始したゲスト購入制度（注2）を利用して、会員登録を行わずに商品を購入したゲスト購入者250千人が含まれております。

メーカー自社EC支援事業におきましては、既に支援しておりました14社に加えて、「ZOZOTOWN」においても人気のブランドである「nano・universe」「AMERICAN RAG CIE」「TOMMY HILFIGER」等5社の自社ECサイト支援業務を新規に獲得することができました。

海外事業に関しましては、平成23年5月に海外顧客向けのグローバルサイト「ZOZOTOWN.com」の開設を皮切りに、中国、韓国においてもEC事業を開始いたしました。中国では、平成23年6月に中国香港にZOZOTOWN HONGKONG CO., LIMITEDを、平成23年8月には中国上海に走走城（上海）電子商務有限公司を設立しております。平成23年10月には中国最大のショッピングサイトである「タオバオモール」に「ZOZOTOWN」を出店、あわせて独自に「ZOZOTOWN.cn」を開設しております。また、韓国においては、平成23年11月1日に韓国最大のショッピングサイト「eBAY Gmarket」及び「eBAY AUCTION」に「ZOZOTOWN」を出店しております。

さらに国内事業におきましても、持分法適用関連会社であった(株)クラウンジュエルの株式を平成23年6月に追加取得し完全子会社としており、事業、収益モデルの多角化へ積極的に取り組んでおります。

以上により、当第3四半期連結累計期間の売上高は22,831百万円（前年同期比33.9%増）、営業利益は5,427百万円（同35.4%増）、経常利益は5,343百万円（同33.4%増）、四半期純利益は3,161百万円（同41.4%増）となりました。

（注1）アクティブ会員：過去1年以内に1回以上購入した会員

（注2）ゲスト購入制度：会員登録を行わずに商品が購入できるサービス

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、各セグメントの売上高、営業利益はセグメント間取引消去前の数値を表示しております。

①EC事業

EC事業セグメントにおきましては、ECサイト「ZOZOTOWN」の運営及びアパレルメーカー自社EC支援事業を行っております。当第3四半期連結累計期間におきましては、ストア運営管理事業の商品取扱高（EC事業セグメントにおける販売価格ベースの取扱高）が前年同期比53.2%増と高い伸び率で成長を続けております。その結果、当第3四半期連結累計期間のEC事業セグメントにおける商品取扱高は57,732百万円（前年同期比43.6%増）、売上高は22,428百万円（前年同期比31.6%増）、営業利益は5,503百万円（同37.3%増）となりました。

EC事業セグメント内の各事業部門別の業績は以下のとおりであります。

（ストア企画開発事業）

平成23年12月末現在、ストア企画開発事業では「ZOZOTOWN」内の38ショップを運営しており、当第3四半期連結累計期間の商品取扱高は、8,936百万円と前年同期比209百万円の増加（前年同期比2.4%増）、商品取扱高全体に占める割合は15.5%（前年同期21.7%）となりました。また、同期間における売上高は8,936百万円と前年同期比209百万円の増収（前年同期比2.4%増）、売上高全体に占める割合は39.1%（前年同期51.2%）となりました。

（ストア運営管理事業）

平成23年12月末現在、ストア運営管理事業では「ZOZOTOWN」内の318ショップを運営しており、当第3四半期連結累計期間の商品取扱高は43,714百万円と前年同期比15,187百万円の増加（前年同期比53.2%増）、商品取扱高全体に占める割合は75.7%（前年同期71.0%）となりました。また、同期間における売上高（受託販売手数料）は11,773百万円と前年同期比4,480百万円の増収（前年同期比61.4%増）、売上高全体に占める割合は51.6%（前年同期42.8%）となりました。

（メーカー自社EC支援事業）

平成23年12月末現在、メーカー自社EC支援事業では19社のECサイトを受託・運営しており、当第3四半期連結累計期間の商品取扱高は5,081百万円と前年同期比2,139百万円の増加（前年同期比72.7%増）、商品取扱高全体に占める割合は8.8%（前年同期7.3%）となりました。また、同期間における売上高（受託販売手数料）は1,331百万円と前年同期比591百万円の増収（前年同期比79.9%増）、売上高全体に占める割合は5.8%（前年同期4.3%）となりました。

（その他の事業）

その他の売上として、「ZOZONAVI」掲載ショップの特集ページ掲載サービス等からなるメディア事業、提携カードである「ZOZOCARD」でのキャッシング収入及び当社サイト以外でのショッピングに関する手数料を受領するカード事業並びに各ブランドがテナント出店する際の初期出店料及びメーカー自社EC支援事業に係るWEBページ製作業務料等があります。当第3四半期連結累計期間におけるその他の売上高は386百万円と前年同期比101百万円の増収（前年同期比35.8%増）、売上高全体に占める割合は1.7%（前年同期1.7%）となっております。

②オークション事業

オークション事業セグメントにおきましては、オークションサイト「CROWN JEWEL」を運営しております。当第3四半期連結累計期間の売上高は、353百万円となっております。

③その他

その他のセグメントにおきましては、アパレル商材の企画、販売事業を運営しております。当第3四半期連結累計期間の売上高は、65百万円となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ5,766百万円増加(前年同期比38.7%増)し、20,663百万円となりました。主な増加要因としては、現金及び預金の増加額1,989百万円、売掛金の増加額3,820百万円などによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ936百万円増加(同70.1%増)し、2,272百万円となりました。主な増加要因としては、工具、器具及び備品の増加額212百万円、のれんの増加額678百万円などによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて41.3%増加し、22,936百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ4,072百万円増加(前年同期比65.3%増)し、10,307百万円となりました。主な増加要因としては、受託販売預り金の増加額3,584百万円、未払金の増加額816百万円などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ78百万円増加(同17.0%増)し、543百万円となりました。主な増加要因としては、退職給付引当金の増加額86百万円などによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて62.0%増加し10,850百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ2,552百万円増加(前年同期比26.8%増)し、12,085百万円となりました。主な増減要因としては、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加額3,161百万円、少数株主持分の増加額169百万円、剰余金の配当による減少額768百万円などによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末から1,489百万円増加し、11,529百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は3,121百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益5,546百万円の計上に加え、受託販売預り金の増加額3,584百万円等の増加要因があったこと、一方、主な減少要因としては売上債権の増加額3,738百万円及び法人税等の支払額3,011百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は1,058百万円となりました。これは有形固定資産の取得による支出338百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出531百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は534百万円となりました。これは、少数株主からの払込みによる収入232百万円、配当金の支払額767百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におきましては、CFMに基づき行った顧客サービス向上施策が奏功したこと、商品供給面が強化されたことにより商品取扱高、売上高は順調に推移しております。一方で、販売管理費に関しましては、ポイント関連費用の増加があったものの、当初見込んでいた商品取扱高の増加による人件費、物流費用等の増加がスケールメリットにより抑制されたことが寄与し、利益に関しても概ね計画通りに推移しております。

なお、平成23年4月27日に発表した平成24年3月期の通期連結業績予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度末において当社の持分法適用関連会社であった(株)クラウンジュエルを、平成23年6月に株式の追加取得を行い完全子会社化したことに伴い、連結の範囲に含めております。

また、平成23年6月に中国香港に設立いたしましたZUZUTOWN HONGKONG CO., LIMITED及び平成23年8月に中国上海に設立いたしました走走城（上海）電子商務有限公司を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 9,539,926 | 11,529,365 |
| 売掛金 | 3,180,863 | 7,000,945 |
| 有価証券 | 500,000 | — |
| 商品 | 1,071,428 | 1,319,428 |
| その他 | 604,725 | 814,163 |
| 流動資産合計 | 14,896,943 | 20,663,903 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 523,315 | 779,025 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | — | 678,836 |
| その他 | 257,447 | 246,246 |
| 無形固定資産合計 | 257,447 | 925,082 |
| 投資その他の資産 | 555,759 | 568,734 |
| 固定資産合計 | 1,336,522 | 2,272,841 |
| 資産合計 | 16,233,465 | 22,936,745 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 577,958 | 499,173 |
| 受託販売預り金 | 2,655,950 | 6,240,412 |
| 未払法人税等 | 1,776,216 | 1,367,374 |
| 賞与引当金 | 97,698 | 63,274 |
| ポイント引当金 | 396,284 | 584,831 |
| その他 | 730,814 | 1,551,957 |
| 流動負債合計 | 6,234,922 | 10,307,023 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 225,200 | 311,522 |
| 役員退職慰労引当金 | 137,207 | — |
| 資産除去債務 | 102,442 | 114,636 |
| その他 | — | 117,649 |
| 固定負債合計 | 464,849 | 543,807 |
| 負債合計 | 6,699,772 | 10,850,830 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,358,693 | 1,359,309 |
| 資本剰余金 | 1,326,890 | 1,327,498 |
| 利益剰余金 | 6,849,700 | 9,241,961 |
| 株主資本合計 | 9,535,284 | 11,928,769 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △3,320 | △3,836 |
| 為替換算調整勘定 | — | △11,787 |
| その他の包括利益累計額合計 | △3,320 | △15,624 |
| 新株予約権 | 1,729 | 2,988 |
| 少数株主持分 | — | 169,779 |
| 純資産合計 | 9,533,693 | 12,085,914 |
| 負債純資産合計 | 16,233,465 | 22,936,745 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 17,045,795 | 22,831,084 |
| 売上原価 | 5,681,782 | 5,723,850 |
| 売上総利益 | 11,364,013 | 17,107,233 |
| 販売費及び一般管理費 | 7,356,199 | 11,679,475 |
| 営業利益 | 4,007,814 | 5,427,758 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 7,498 | 6,744 |
| 受取配当金 | 609 | 310 |
| 持分法による投資利益 | 1,110 | — |
| その他 | 3,201 | 2,473 |
| 営業外収益合計 | 12,419 | 9,528 |
| 営業外費用 | | |
| 為替差損 | 13,838 | 16,312 |
| 持分法による投資損失 | — | 6,653 |
| 創立費 | — | 70,957 |
| 営業外費用合計 | 13,838 | 93,924 |
| 経常利益 | 4,006,394 | 5,343,362 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | — | 5,443 |
| 段階取得に係る差益 | — | 207,631 |
| 特別利益合計 | — | 213,074 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 65,469 | 10,364 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 22,440 | — |
| 特別損失合計 | 87,910 | 10,364 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,918,484 | 5,546,073 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,877,641 | 2,607,804 |
| 法人税等調整額 | △195,169 | △173,092 |
| 法人税等合計 | 1,682,472 | 2,434,711 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 2,236,011 | 3,111,361 |
| 少数株主損失(△) | — | △49,701 |
| 四半期純利益 | 2,236,011 | 3,161,062 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 2,236,011 | 3,111,361 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1,591 | △516 |
| 為替換算調整勘定 | — | △22,330 |
| その他の包括利益合計 | △1,591 | △22,846 |
| 四半期包括利益 | 2,234,420 | 3,088,514 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 2,234,420 | 3,148,770 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | — | △60,255 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,918,484 | 5,546,073 |
| 減価償却費 | 103,223 | 190,904 |
| のれん償却額 | — | 75,426 |
| 固定資産除売却損益(△は益) | 65,469 | 10,364 |
| 段階取得に係る差損益(△は益) | — | △207,631 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △43,496 | △34,424 |
| ポイント引当金の増減額(△は減少) | 82,083 | 185,015 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 39,941 | 86,322 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | 17,109 | △137,207 |
| 受取利息及び受取配当金 | △8,107 | △7,055 |
| 為替差損益(△は益) | 13,833 | 16,312 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 22,440 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △1,915,658 | △3,738,130 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 44,845 | △184,538 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △283,338 | △145,967 |
| 受託販売預り金の増減額(△は減少) | 1,950,066 | 3,584,462 |
| 未払金の増減額(△は減少) | 420,721 | 790,593 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 30,143 | △58,180 |
| その他 | 31,395 | 153,856 |
| 小計 | 4,489,156 | 6,126,195 |
| 利息及び配当金の受取額 | 8,216 | 6,537 |
| 法人税等の支払額 | △1,792,342 | △3,011,567 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,705,030 | 3,121,165 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △121,730 | △338,805 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △58,413 | △91,151 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 2,974 | — |
| 関係会社株式の取得による支出 | △95,150 | — |
| 投資有価証券の取得による支出 | — | △50,000 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | — | △531,365 |
| その他 | △2,895 | △46,902 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △275,216 | △1,058,224 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 株式の発行による収入 | 728 | 405 |
| 配当金の支払額 | △463,457 | △767,301 |
| 少数株主からの払込みによる収入 | — | 232,175 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △462,729 | △534,720 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △13,833 | △38,780 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 1,953,251 | 1,489,438 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 7,160,047 | 10,039,926 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 9,113,299 | 11,529,365 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。